

#### 4. 議題

今回の番組審議委員会は、都竹悦子ナビゲーター担当の番組「Hits Weekend Show」のオープニング、フリートーク、外国人のインタビューと、2023年4月5日（水）午後1時から放送した、服部和子ナビゲーター担当のコーナー「スキマ研究放送局」を聴取して審議に入った。

##### ★「Hits Weekend Show」番組内容

休日の朝、お出かけとともに楽しいひと時を過ごしていただけるよう、週末のイベントや地域の話、季節の話などいろいろな情報やインタビューなどを、ポップな音楽を交えてお届けしている。なお、音楽は「ロズさめるような」イメージを軸に洋楽・邦楽、新旧問わず選曲。

##### ★「スキマ研究放送局」番組内容

NPO法人まちづくりスポット「スキマ研究会」（飛騨地域に起きる様々な「スキマ」を研究する会）が毎月1回、将来、この地域で人口減少が起きることで「産業の衰退」「自分たちの生活にどう影響するのか」などの疑問を対話している。そこで周知したい為、NPO法人まちづくりスポットのコーディネーター 本間あかりさんと「スキマ研究会」のいろいろな活動について紹介。

#### 5. 審議内容

会社側：	審議に入る前に前回の番組審議委員会での意見に対しての回答、報告、今後の放送予定、聴取した番組の補足などを説明した。
大萱委員長：	只今、聴取した番組についてでも結構だし、普段聴いている番組等で感じていることでも結構なので、皆さんから意見を頂戴したい。
原委員：	「ヒッツ・ウィークエンド・ショー」について、担当の都竹ナビゲーターは非常に聴きやすいので聴き惚れてしまった。早口な部分もあるが、インフォメーションなどはゆっくり紹介していて、抑揚があつてよかった。名古屋のZIP-FMで約15年、ナビゲーターを担当していたこともあり、音楽としゃべりを上手く使っているなど感じた。できたら土曜日のみならず、他の曜日も担当して欲しいと思った。 また、外国人とのインタビューについて、しばらく英会話でインタビューをしていて、その後、どんな会話をしていたかの説明があつたが、自身は外国語が得意ではないので、ずっと英会話でのインタビューだとよくわからないので、所々で和訳しながらインタビューしてもらえるとわかりやすいのではないかと思った。 「スキマ研究放送局」は、コーナー名がおもしろいと思い聴いていたが、担当の服部ナビゲーターもだいぶ慣れてきていて、相槌もうまくなって

	<p>いるし、相手のコーディネーターの方とうまく絡んでいると思う。気になる点としては途中、BGMが少し大きいシーンもあったが、ミキサー側のミスとの説明があったのでそこは了承した。それと、コーディネーターの本間さんの紹介が途中で入ったが、コーナーの最初に紹介があったほうが聴きやすいと思った。</p> <p>それから「次第」の報告にあった日曜日の「AIによる放送」についてだが、日曜日でも自身の店でヒッツFMを流して聴いているが「AI」と言われないと区別がつかない。標準語でゆっくりとニュースや天気予報などのインフォメーションをしゃべっているの、聴きやすいと思う。ただ、AIの紹介はよいが、その後、音楽がしばらくかかっているのを聴くと、懐かしい音楽が多い気がした。個人的には年齢的にも懐かしい音楽は好きなのでよいが、全体的には音楽のジャンルはバランスよく選曲したほうがよいと思う。また、所々、インフォメーション以外のもの、フリートークなのか、録音物かはわからないが、そういうものを放送したほうがバランスがよいと思う。</p>
大萱委員長：	AIによる放送はまだ聴いていないので聴いてみたいと思うが、以前聴取したのもAIではなかったのか？
会 社 側：	<p>以前は防災ラジオの自動起動放送の「防災情報」を聴取して頂いた。この時は、同じソフトだが、短い文書を何日も前からテキスト化し、音声に変換して放送した。今回は、インフォメーションの数も多いし、リアルタイムに放送しているので、最初のうちは時間も無いし、慣れていない為、修正するのが大変だった。今は少しずつ慣れている状態だ。</p>
原 委 員：	テレビのNHKのニュース番組で、AIによる音声で放送しているのを見たことがある。
高原 委員：	<p>原委員とほぼ同じ意見になるが、「ヒッツ・ウィークエンド・ショー」は、都竹ナビゲーターは慣れているし、アクセントや口調が軽快でよかった。また、新穂高ロープウェイのイベント「星空観賞便」について紹介をしていたが、自身はこのイベントに行ったことが無いが、何となく情景が浮かぶような説明の仕方だなどと思うし、音楽も雰囲気にあった曲を選んでいると思った。</p> <p>外国人とのインタビューについては、いろいろ捉え方あると思う。自身も外国語はわからないが、長い間、相互で外国語でのやりとりを聴いているのもよいと感じたし、後でフォローがあったのでよかったと思う</p> <p>「スキマ研究放送局」についても、初めてこの言葉を聞いたし、なかなか興味深い内容だった。今後も、いろいろなテーマでリスナーに周知し</p>

	<p>て欲しいと思う。担当の服部ナビゲーターも慣れているし、上手に合いの手を入れながら、コーナーを進めている感じがした。</p>
<p>大上 委員：</p>	<p>「ヒッツ・ウィークエンド・ショー」については、担当の都竹ナビゲーターの口調が非常に滑らかで、声もととても綺麗だと思った。また、英語もペラペラで、ナビゲーター同志の刺激となり、お互いに向上心を高めていくのではないかと思った。先ほどの原委員からの意見で、話のテンポが速い印象があるが、インフォメーションで電話番号などお問合せ先を伝える時は、ゆっくり紹介していてメリハリがあり聴きやすいと思った。</p> <p>外国人のインタビューは、U2の曲（BGM）が少し大きいと感じたので、ボーカル入りの曲だし、少しBGMを小さくして放送したほうがよいと思った。自身は外国語が好きなので、ずっと外国語でやり取りしているのを聴いているのも、興味深くおもしろいと思った。</p> <p>「スキマ研究放送局」については、最初のタイトルコールからの導入部分がおもしろかった。ただ、コーディネーターの本間さんの「うん。うん。うん。」の回数が多いのが気になった。2人の中では知り合いだし親しみを込めての「うなづき」だと思うが、放送となると少し気になった。それと、原委員の意見と同様、本間さんの紹介は最初にしたほうがわかりやすいのではないかと思った。</p>
<p>大萱委員長：</p>	<p>確かに「うん。うん。うん。」が多かったと思う。</p>
<p>松川 委員：</p>	<p>聴取した担当ナビゲーター2人とも聴きやすかった。「ヒッツ・ウィークエンド・ショー」については、休日土曜日の朝放送ということで、出だしやテンポ、時間的にも都竹ナビゲーターのしゃべり方が「休日の朝、どこかへ出かけたくなる」という気持ちになりよかったと思う。イベント情報もいい感じで紹介していて放送時間帯もよいと思った。</p> <p>外国人のインタビューも今、コロナが5類になり高山市も外国人観光客も増えてきたので、外国語に慣れるというか外国語を勉強する意味でもこのようなインタビューを聴くのもよいと思う。ただ、原委員同様、途中で和訳したほうが会話の流れがわかりやすいと思う。</p> <p>「スキマ研究放送局」については、まず「スキマ研究会」というNPO法人があることを知らなかった。放送で「次回このようなイベントがある」というような告知があったが、単発なのか、継続的にやっているのか、どんな場所でも相談するのか、等の情報あるとよいと思った。よい組織だと思うので、そのあたりを告知して欲しいと思った。</p>
<p>大萱委員長：</p>	<p>せっかくいい活動をしているので、みんなに周知してもらえるとよいと</p>

	<p>思う。</p> <p>芹川 委員： 「ヒッツ・ウィークエンド・ショー」について、担当の都竹ナビゲーターは他の委員同様、軽快なテンポでしゃべっていて「ラジオのナビゲーター」という感じを受けた。自身の価値観として、ラジオを聴く人は休日の土曜日、日曜日の車の中で聴く方が多いと思う。なので、フリートークの星空観賞便について、以前、たまたまロープウェイに乗ったことがあるので、景色を思い浮かべながら聴けたので話についていくことができたが、車を乗りながらロープウェイに乗ったことが無い状態で聴いたら、話についていくことができないかもしれないと思う。</p> <p>外国人のインタビューについては、自身も外国語は得意では無いので、外国語のやり取りをずっと聴いているのは、なにを言っているのかわからないので、途中で和訳して欲しいと思った。しかし、高山祭でも外国人が多く、外国語が普通に聞こえるような環境なので、相互で外国語でのやりとりをするのもよいと思うし、番組審議委員会でこのような検討テーマになることが大事だと思った。今後、時代の流れと共に考えを変えていかなければいけないと感じた。</p> <p>「スキマ研究放送局」については、われわれ警察（芹川委員は高山警察署 署員）も同じような活動をしているが、聴取した内容がすばらしいテーマでもっと聴きたいと思った。ただ、他の委員の意見同様、たまたま番組審議委員会の「次第」にコーナー内容が記載されているので理解できたのだが、車の中でラジオを聴いた時に、「本間さんがどのような方なのか」とか「活動内容」などしっかりと伝わらない気がした。そのあたりは最初に説明があるとよいと思った。</p> <p>大萱委員長： ラジオは耳からの情報なので、ラジオ局側は伝わっていると思っても、リスナー側は、はたして伝わっているのか？難しい部分ではあるが、向上していく為にも研究課題にして欲しいと思う。</p> <p>坂下 委員： 他の委員の意見同様「ヒッツ・ウィークエンド・ショー」については、担当の都竹ナビゲーターは非常に聴きやすいと思った。</p> <p>「スキマ研究放送局」についても、担当の服部ナビゲーターとコーディネーターの本間さんとのやりとりが、自然に会話をしている感じで聴いていて心地がよかった。</p> <p>「ヒッツ・ウィークエンド・ショー」の都竹ナビゲーターだが、西三河の方からメッセージが来ていることから、ヒッツFMは飛騨地域しか聴けないものだと思っていたが、現在はインターネット（サイマルラジオ）でも聴けるということなので、そのあたりの告知があるとよいと思った。</p>
--	---

	<p>外国人とのインタビューは、最初「長いかな」と思っていたが、間に和訳を挟まないことで、都竹さんも相手の外国人も楽しんで会話している感じがよかったと思う。</p> <p>それと「スキマ研究放送局」については、「隔週の水曜日放送」と「次第」に記載されていたが「隔週」ということは再放送もあるのか？</p>
会 社 側：	再放送もしている。
大萱委員長：	委員の皆さん順番に貴重な意見を頂いたが、言い忘れたことや他に意見はないか？
松川 委員：	次の委員会から「次第」に記載している番組内容を省いて聴取してもらったらどうか？次第を見ているからわかる部分もあるが、あえて省いて率直な意見を言うのもよいかと思った。
会 社 側：	以前は、番組内容を省いて審議委員の皆さんに聴取して頂いていた。しかし番組内容等の説明を記載した方がよいという意見があったし、そのほうが審議委員の皆さんが意見を言いやすいのかなと思い、最近では番組内容等の説明を入れている。
大萱委員長：	たまには説明を省くこともよいと思う。または、聴取した後に番組説明が記載してある資料を渡すとか。そのあたり臨機応変に対応して頂きたいと思う。自身も審議委員の皆さんと同様な想いだったが、先ほど坂下委員から「サイマルラジオ」の件は、遠くのリスナーから意見が来てよかったと思った。
会 社 側：	少しずつではあるが、高山市のみならず、その他の地域のリスナーからメッセージ等頂いている。
大萱委員長：	そのようなことをもっと周知すれば、今後、全国的に広がるかもしれないし、インターネットラジオなので世界中どこでも聴くことができるから期待したいと思う。
原 委 員：	提案だが、次の審議委員会の聴取する内容は「A I 放送」にして欲しいと思う。
会 社 側：	承知した。この春、改編をしていろいろコーナーも増え、聴取して頂きたい内容も出てきた。勿論「A I 放送」も聴取して頂きたいと思う。

大萱委員長：	リクエストがあったので、次回は「A I 放送」を聴取してもらいたいと思う。「A I 放送」なので、意見するのは難しいかもしれないが、聴いてみないとわからない部分もあると思う。
原 委 員：	A I 放送の男性編、女性編があるが、先ほども言った通り A I と言わない限り A I だとわからないと思う。
会 社 側：	「A I 放送」は、毎週日曜日午前 10 時から午後 3 時までの放送だが、ほぼインフォメーションのみの放送だ。この中に再放送のものを入れたりしている。次回の番組審議委員会は、ニュースや天気予報などを聴取して頂きたいと思う。なお、インフォメーションは社員がパソコン入力し、イントネーション等を修正してデータ化して放送している。
高原 委員：	インフォメーションをパソコン入力するということは、凄い作業になるのか？
会 社 側：	その通りだ。作業としては手間がかかる。文字としては、ニュースは配信原稿をテキスト化したり、その他のインフォメーションについては、フォーマットを事前に作成しているので、少し手直しをするくらいでよい。しかし、イントネーションやアクセントは、微妙な部分を修正していくので大変だ。イントネーションについては「YouTube」をみたことがある方はわかると思うが、あのような感じだ。わからない方もいるかもしれないので、次回は、イントネーションを修正していないもの（放送する前のもの）と修正したもの（放送したもの）を聴き比べて頂こうかと思う。
大萱委員長：	時代の流れなので、いろいろなことにチャレンジしてもらうことはよいと思う。ただ、人件費削減等の諸事情で機械化をしたり、効率的にできるように機械化するところを、その作業で人間の手間がかかるのであれば、慣れていくしかないのか、もっと良い方法があるのか、わからないがせっかく取り組んでいるので続けて頂きたいと思う。もちろん、おかしいところがあれば直していけばよいと思う。
会 社 側：	日曜日は「A I 放送」をしているが、災害等があればスタッフを招集して災害用の放送に切り替えたり、イベントがあれば、サテライト放送やイベント放送にしたり、臨機応変に対応していく。
大萱委員長：	先日の石川県の地震の時は、緊急地震速報が鳴って驚いたのだが、ヒッツ FM はどのような対応をしたのか？

<p>会 社 側：</p>	<p>石川県は隣の県だが、マグニチュードが大きかった為、この地域も緊急地震速報が鳴った。当局の対応として、防災ラジオを立ち上げて高山地域の震度の状況など放送し、その後は通常番組の中で何回か地震情報を伝えた。地震は発生したのが、平日の午後3時前だったので迅速に対応できたが、夜遅い時間等に地震は発生すると、スタッフを集めるか、もしくは市役所からの割り込み放送での対応になると思う。</p>
<p>大萱委員長：</p>	<p>この時は迅速な対応ができたということだが、今後も続くかもしれないので、引き続き対応をお願いしたいと思う。 話は変わるが「スキマ研究放送局」のコーディネーター 本間あかりさんは同じバンド（大萱委員長は高山市民吹奏楽団 理事長）で頑張っている、新潟出身の期待の若者だが、このような方が他にも飛騨地域にいると思うので、ナビゲーターにはアンテナを張ってもらって、ゲスト主演でもよいし、このような若者を取り上げて欲しいと思う。</p>
<p>会 社 側：</p>	<p>本日も貴重な意見を頂き大変ありがたい。会社に持ち帰り、番組向上に繋げたいと思う。</p>

6. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日（答申又は意見の内容及びその年月日を併せて記載すること。）

令和5年5月16日（火）番組審議委員会の席上で説明

7. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法（自社ホームページ [http://:www.hidanet.ne.jp/~hitsfm](http://www.hidanet.ne.jp/~hitsfm)）

公表の内容 第89回番組審議委員会開催の議事録

公表年月日 令和5年6月14日

8. その他の参考事項

次回開催時期：令和5年7月下旬

次回開催場所：飛騨地域地場産業振興センター